

# 公明こうち

## 市議会ニュース

発行所／高知市議会公明党  
 住所／〒780-0870  
 高知市本町5丁目1番45号  
 TEL:088-823-9403  
 FAX:088-871-2485

2023年(令和5年)12月1日 第59号

高知市議会  公明党

### 第498回 高知市議会定例会

## 長年の市政課題が大きく前進!



いのめぐみ 議員

#### ◆子ども医療費助成拡大について

高知市の子どもの医療費助成について、市議会公明党は、粘り強く取り組んで来ました。6月議会において、現在の小学6年生から対象年齢をもっと引き上げるべきではないかと提案しましたが「国において制度化すべきものと考えている」との消極的な答弁でした。

それ以降「なぜ高知市は、子ども医療費助成拡充が進まないのか」とたくさんのお声を頂き今議会においても、再び「子育て支援はどこに住んでいても格差が生じないように高知市でもしっかり取り組んで行くことが必要ではないかと」市長の英断を求めました。

岡崎市長からは、「早期に中学生までの拡充をめざす」との答弁がありました。

#### ◆熱中症対策について

熱中症対策の取り組みが強化され、来春より「熱中症特別警戒情報」が新設される予定です。自治体は、対策推進へ冷房施設を有する公共や民間の施設をクーリングシェルターとして指定できる事を盛り込みました。

市民の皆様への命を守る観点から暑さを避けられる避難場所の提供について、本市の具体的な取り組みを伺いました。

環境部長からは「市民の皆様が迅速に避難でき、安心して過ごしていただける、クーリングシェルターの指定に向けた検討を進める」との答弁がありました。今後は、少しでも早い導入の実現に注視してまいります。



たかぎ たま 議員

#### ◆動物愛護センター整備が進展!

高木妙議員は、以下のとおり質問しました。遅々として進まない(仮)動物愛護センターの用地について、昨年9月議会でも水面下の議論を表舞台に引き出し、高知県が所有する「高須浄化センター」用地内を活用することを取り上げ具体的に提案しました。

1年が経過した今議会でも、その後の協議について進んだところ、岡崎市長より「県有地である高須浄化センターの敷地内を新たな候補地として詳細な検討を進めることにした」との答弁がありました。

計画発表から7年。基本構想は出来ても用地が見つからず、進まなかったセンター整備は、これまで20数ヶ所以上の適地を探し、やっと用地が決定したのです。

今後は、県・市によって、地質調査や、基本実施設計などを行い、待望久しかったセンター整備がようやく動き出すことになりました。

皆さんのご期待にお応えできる動物の福祉に資するセンターが、一日も早く整備されるように見届けたいです。

#### ◆多胎家庭支援事業拡充を!

高知市が行っている多胎家庭支援事業が、以下のように改善されることになりました。

- ①3つ子世帯への支援員2名の派遣は、来年度から実施に向けて前向きに検討する。
- ②3歳を超える多胎家庭への事業対象拡大は、保育園等の就園状況や利用状況を踏まえ判断する。

その他の質問は高木妙H.Pをご覧ください。



今年6月1日から条件付特定外来生物に指定され規制がスタートしたアメリカザリガニは子ども達に人気で、飼育経験のある人もいないではないでしょうか。私も幼い頃「赤い体に大きなツメを振り上げて威嚇する姿」に魅せられ、よく捕獲に出かけました。

アメリカザリガニは雑食性で、もたらいた水生生物(ドジョウ・ゲンゴロウなど)を食べて、絶滅の危機に追いやりまます。水草を食べたり、はさみで切ってしまうため、ほかの生き物(トンボ・タナゴなど)のすみかや産卵場所がなくなります。また水質浄化作用のある水草がなくなると、水質は悪化し住処である池などの環境を大きく変えてしまうなど非常に厄介な存在です。

アメリカザリガニが日本に入ってきたのは1927(昭和2年)ウシガエル(食用ガエル)繁殖の餌として持ち込まれました。繁殖力が強く1度の産卵で300〜500の卵を生み、あらゆる環境に適応し汚い水でも生きていきます。加えて水中だけでなく陸上も移動できるアメリカザリガニは、全国的にウシガエルが繁殖される中その養殖場から逃げたり、観賞用として飼っていた人が逃がしたり放したりしたこと爆発的に増えたとされています。

一度定着してしまうと完全に駆除することが困難であるので、外来種被害予防三原則(入れない、捨てない、広げない)を守る必要があります。

人間の都合によって持ち込まれたアメリカザリガニが生態系に悪影響をあたえています。人間の知恵とルールに沿った解決への道を、私達が一歩ずつ歩んでいくしかないと考えます。(昭)



# 公明党が取り上げる 委員会で注目されたテーマ

## 経済文教



山根 堂宏

### 学校のプールの在り方 検討委員会の設置

全国の小中学校で、プールの老朽化による修繕コストが課題となり、プールを廃止する動きが広がっています。そして、民営・公営プールで水泳の授業を行う学校が増加しつつあります。また、中学校では「水着姿を見られるのを嫌がる生徒」に配慮して、授業そのものをなくした自治体も出てきています。

そういった変化の波は、高知県内にも押し寄せ、高知市教育委員会では他県の事例も念頭に、保護者や有識者・学校長ら15人で「学校プールの在り方検討委員会」を今年5月に立ち上げ、年内中に今後の方針をまとめるとしています。

#### ◆高知市内の現状：高知市教育委員会

- 高知市立59校のうち38校が築30年以上を経過している。
- 1校当たりの維持管理費は年間約100万円、修繕費は1件当たり700万～800万円、プールひとつの全面改築には2億円程度が必要。
- 「1校1プール」の維持管理が困難な状況となってきた。

## 総務



大久保 尊司

### 高知市財政健全化プラン (2023年度版)策定

高知市では、平成30年度から令和4年度の5年間を計画期間とする「高知市財政健全化プラン」を策定し、財政健全化の取組みを進めてきました。しかしこの間、新型コロナウイルス感染症の拡大や、ロシアによるウクライナ侵攻で燃油や穀物価格などが高騰し、企業活動や市民生活に甚大な影響を与えてきました。

令和5年5月8日には、新型コロナの位置づけが5類相当となり、経済は回復傾向にあるものの、税収等の大幅な増加が見込めないことから、財政健全化プランを見直し、ふるさと納税などの税外収入確保や市民の求める真に必要なサービスを最小のコストで提供する視点を常に持ち、効率的かつ適正な予算執行を行うことを盛り込んだ「高知市財政健全化プラン(2023年度版)」を今年の7月に策定しました。

公明党からは、地方債など、必要経費等のコスト削減についても改善していくべきであると指摘し、適正な財政運営を図っていくよう求めました。

## 厚生



高木 妙



いの めぐみ

### 出産・保育

#### 1. 国保の「産前産後保険料免除制度」が始まります。

免除対象者	出産する被保険者本人
免除対象保険料	所得割・均等割の4ヶ月分相当 *多胎妊娠6ヶ月
施行日	令和6年1月1日

お問い合わせ先…高知市保健医療課資格課係  
TEL 088-823-9360

#### 2. 「保育施設みらい構想検討部会」の答申について

今後検討される公立保育所の統廃合や多機能化について、社会的な環境や保護者の思いに沿った心ある保育編成について意見を述べました。



## 建設環境



伊藤 弘幸



西村 昭夫

### 下知ポンプ場の整備

下知ポンプ場の事業効果及び施設の活用について質疑致しました。執行部より老朽化対策と併せて、浸水対策におけるポンプ能力を現況の約1.5倍に上げ、下知南部地区の雨水排水能力の向上を図るとともに、津波浸水地域を踏まえ建物屋上は地元の皆さまの避難所として活用できるように整備を進めていると答弁がありました。

令和8年度には供用開始を目指し、工事は順調に進んでいます。



下知ポンプ場(ポンプ棟)